

# 物流コスト改革推進調査事業（新規）

## 1. 趣 旨

- (1)我が国の食品流通、特に青果物の国内輸送については、季節性による量の変動に対する定量性の問題、鉄道ダイヤ等の問題からの時間的制約、輸送中の品質確保、一貫輸送による利便性等からトラック輸送が主体となっている。
- (2)一方、消費者の利益の増進や国内産地の競争力強化を図るためには、一層の供給コストの削減を図っていくことが必要であるが、遠隔産地ほど輸送コストは無視できないものとなっており、そのできる限りの削減を図ることが求められている。
- (3)このようなことから、モーダルシフトやクールコンテナの効率的利用に向けた課題の抽出・整理を行い、今後の青果物等の長距離輸送コスト低減の仕組みづくりのための可能性を調査し、取組方向、効果等を検討する。

## 2. 事業内容

- (1)モーダルシフトやクールコンテナの効率的利用に向けた課題の整理・検討を図るため、検討会を開催する。
- (2)産地サイド・消費地サイドの関係者が、効率的な食品物流について、協議会を開催する。
- (3)モーダルシフトやクールコンテナの効率的利用を図るための課題の解決に向けた、試験調査を行う。

3. 平成18年度概算決定額 13,300(0)千円

4. 事業実施主体 民間団体

5. 補助率 定 額

6. 事業実施期間 平成18年度～平成19年度

〔担当課：総合食料局流通課〕